

京都府

(人 口) 2,578,087人 (R2.10.1現在)
(面 積) 4,613km²
(ふるさと納税寄付額) 1,035件
(令和3年度) 150,043千円

日本列島のほぼ中央に位置する京都府は、南北に細長く、そのほぼ中央に位置する丹波山地を境にして、気候が日本海型と内陸型に分かれます。府域には海岸線、山地、盆地が広がり、天然の良港や豊富な景勝地に恵まれます。長い歴史の中で培われた文化を源泉とする、世界的魅力のある観光資源や大学・研究機関から生まれる高度技術、ハイテクから伝統産業までの多様な企業の集積など、京都ならではの総合力が魅力です。



京都府の鳥
(オオミズナギドリ)

冠島に生息する渡り鳥。
魚群を教えるため”サ
バ鳥”とも呼ばれます。



京都府の花
(しだれ桜)

うす紅色の花弁も優しく、流
れ落ちるようなしなやかな
美しさは、京の風情そのまま



京都府の木
(北山杉)

木立が天に向かって真っ
すぐに伸びる姿は、”伸び
ゆく京都府”の象徴です。



京都府の草花

(嵯峨ぎく)

(なでしこ)

京都嵯峨の地に
源を発する古典
ぎくで、キク科
の多年草です。

古典によく詠ま
れ、また、鴨川の
河原にも自生し、
古来より府民に
愛されています

ふるさと納税制度を活用して地域の文化財を守る

京都府では、ふるさと納税制度を活用した「文化財を守り伝える京都府基金」を設置し、歴史的建造物の保存・修理や防災対策などの文化財保護に取り組んでいます。

右の平八幡神社の籠屋は、随所に明治時代から大正時代の伝統的建築技法を残した建物です。この籠屋は平地区の祭の練習場所として使用されており、毎年11月3日に行われる例大祭では「平八幡神社の振物・神楽・三番叟」(京都府登録無形民俗文化財)として平地区から「振物」が披露されます。この籠屋の老朽化に伴い、瓦屋根や漆喰壁が劣化していたため、その改修を行いました。



①平八幡神社籠屋(舞鶴市)

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「地震・火災等から有形文化財を守る事業—本殿覆屋の修理—」

左の写真は、文政10(1827)年に再建された社殿を保護するための覆屋ですが、雪が多い地方であるため、落雪による覆屋の腰板の劣化が心配されていました。

頂いたふるさと納税を活用した本事業により雪囲いを設置できたことで、地元の皆さまも安心して参拝できるようになりました。



②四宮神社(福知山市)

応援しています！～寄付者の声～

COVID-19の影響で日本経済全体が影響を受けている中でも、文化財保護は途切れてしまうと後になってからは回復できない事が多く、文化財を保護する事は長い歴史の中で受け継いできた資産で、後世のためにも大切な行為であると考えております。その一助になればと考えております。

感謝しています！～地域からの声～

①地域住民にとって幼少期から祭の練習で親しんできた思い出深い場所で、祭の継承にも欠かせない存在です。これからも大切に受け継いでいきたいです。

②元通りになった神社を見て地元はとても喜んでおります。維持管理は大変ですが、神社や地元で大切に伝えてきたものを見てもらえるよう、覆屋内を活用しています。